



リソ人叢書

特255  
325

# 釣場案内



第一輯

リソ人社



# 始





特 255  
325

つり人叢書

# 釣場案内




第一輯

まづたく現下の深刻極る食糧事情をおも  
と、ほんとに魚釣りどころではないかも知れ  
ない。だがさうかといつて、食べることばか  
りに頭を一杯にしてゐてどうならう。  
世人は今あまりにも「食べること」に囚は  
れすぎてゐる。武士は食はねど、の瘦我慢  
ではないが、われわれはもう少し心のゆとり  
をもつて生きてゆきたい。  
月並な言葉ではあるが、良書は心の糧にな  
る。そして良き趣味は人間を向上させる。こ  
の時世にも慰樂といへば種々あるが、われわ  
れはその一に先づ「釣り」を挙げる。  
くよくよ憂鬱にすごしても同じ人生五十年  
だ。たまの休日の出漁は、稼いで来た後の一  
風呂にも似て、爽快そのものである。うんと  
働いてうんと遊ぼう。そして、大いに釣つて  
大いに楽しむことである。  
そこで、われわれは先づ諸賢を手近な釣場  
へ案内すべくこの書を贈る。


巻頭言

つり人社版

# 優良釣具店


  
釣具問屋  
櫻井商店  
神田区鍛冶町一ノ六  
電話(25)212


  
再生商會  
京橋區銀座西八ノ六  
電話(57)8555


 竿ノ店  
泰地屋東作  
泰地屋五房  
稻荷町地下鐵前

  
喜楽  
淺草區田原町電停前

  
亀屋釣具店  
上野駅前

  
村上釣具店  
芝區虎門電車通り  
電話(43)484

  
釣具問屋  
谷田楠商店  
神田區須田町一ノ二

  
龜山テグス商會  
神田區須田町一ノ二六  
電話(25)1444



近郊小鮎釣場

小名木川方面

都電錦糸町から葛西橋行きに乗車、大鳥一丁目(舊小名木川)にて下車、小名木川橋を渡らずに左へ川沿ひの道を約三、四丁行くと、欄干のない無名の橋がある。数年前迄は浦安通ひのポンノ、蒸気が時々潮待ちを餘儀なくされた丸八橋といへば浦安の青鯖に血道を上げた連中は平和な昔が偲ばれて、懐しさが込み上げて来る筈である。この橋を渡らずにそのまま少し行くと、左に見える池、池とは名ばかりで全體が浅い貯水場である。だが面積は相當廣く、掛り場は澤山ある。附近一帯が焼野原で気分は良くないが魚は濃い。住宅の密集してあつた時代は、悪水で芳しくなかつたのだが、戦災のお蔭? ですつかり淨化された。

北側にある製材所の前の小徑が船堀橋に通ずる路である。

型は題名に偽りなくコブ、柿の種級が主なので引きを楽しむといふのでなく、繊細な技巧を楽しむといふ譯なのだが、稀には四、五寸級の金太郎が強引な、引きを見せて、心臓をドキツカせる。筆者は今春四月中頃に、船堀のダボ釣りの歸途近所の人や子供等が釣つてゐるのを見て、その後出直して試釣したのだが、尠い時で五、六十尾、條件の良い日には一束五、六十から二束位は出たので九月頃から晩秋へかけては相當期待してゐると思ふ。

池の西側の道を(小名木川を背にして)北方へ二丁程行くと改正道路へ出る。(これは大鳥三丁目の停留場から來てゐる)この道について右の方へ少し行くと左り側に餌屋があつてポツタやキジ等を賣つてゐる。

更に先へ行くと左り側に大きな工場がある。手前の堀に沼ふて左りに横丁を這入ると直ぐに左り

目次

◎近郊小鮎釣場……………二  
 小名木川方面、小松川方面、一ノ江方面、今井橋附近、行徳方面、當代島附近、浦安方面、新小岩方面……………二  
 ◎ダボはぜ釣り……………二  
 隅田川筋、葛西橋附近、京濱方面……………二  
 ◎多摩川下流のヤマベ……………二  
 二子橋附近、クリーニング洗場の前邊り、砂利池、川崎用水、六郷用水、多摩川の鮎釣場巡り……………三  
 ◎鮎釣場巡り……………三  
 相模川の鮎釣り、小倉橋附近(相模川) 鮎の三ヶ木、荒川橋附近(相模川) 鮎の田名附近(相模川) 桂川上野原附近、鹽川の鮎釣り、釜無川の鮎釣り、狩野川の鮎釣り、富士川……………三  
 ◎山女魚釣場……………三  
 山女魚ハイキング(正丸峠) 秋川溪谷(山女魚) 葛野川の山女魚、祕境利根澤、大見三川の山女魚、山女魚の仕掛と餌……………三  
 表紙 麻生 豊

側に池がある。前記の池に比べると面積は半分もない小さい池で、矢張り全體が浅いが割方魚は濃い。

場所は道路に面した所と、畑の畔を通つて北側、更に迂回して西側と何れも大差はないが東西は特に浅いので冷え込みの甚だしい時は芳しくない。

北西の位置に別になつた貯水池があつて、これは水深もあるが型はあつても魚信が遠いので、冷え込みが甚しくて浅い方で釣りにならないやうな時以外は綸を垂れない事にしてゐる。

横丁を北に(改正道路を背にして)二丁程行くと、五ノ橋から來てゐる川の土手に出る。土手下の道を右へ少し行くと右側に小さい貯水池があつて此處でも釣れるが、餘り狭いので一日ネバるやうな場所ではない。

丸八橋へ戻つて、橋の上から西南の方を望見す

503-291



と手前に見える小さい池、その先に中邊の池、ズウツと先に見える大きな池は金魚屋さんの養魚場なのでこれは駄目だが、二番目の中の池が仲々良く釣れる。矢張り浅くて、條件は、大體前記の池と同じである。

### 小松川方面

小松川橋を渡り切つて、土手上の道を右へ約二丁程行くと左り側に見える池、幾つもの池が連絡してをって何れも浅い。東側の用水に繋がつてをり、潮入りなので大潮の時には干満が相當なものである。御多聞に漏れずコブが主だが、稀には大物に出會す事もある。筆者は好んで浅ツバを狙ふ癖があるせい、上げツ端から上げ潮の方が成績が擧がるが、下げだとして満更捨てたモノではない。この用水に續いてゐる處の細流でも釣れるがエビガニが相當うるさい。

川沿ひに少し進む土手下に金魚の養魚場の池がある。

この邊から先が、ズウツと釣場である。先へ行くと堰があつて、これに續いてゐる細流、堰を越して先もよい。

——その先の堰に續く用水も出る。その堰の先にも、細流があつて、奥行は仲々ある。

それから先は船堀で晩秋から早春へかけてのゴツンゴ釣りは餘りにも有名である。本來この邊で仕掛や釣り方を述べ度いのだが後述することにしよう。

### 今井橋附近

都電今井終點下車、今井橋を渡つて右へ江戸川沿ひに少し行くと江戸川園(つり堀)其處の堀際の細流、堰の際は一寸小深いが奥の方は段々と浅く、先のT字型の附近が亦一寸小深い。寒い時分は多少共小深い所を狙ふのだが、盛期は浅い所で結構である。

X X X

小松川橋を渡つたら今度は反對に左りへ更に右へと市川方面へ舊街道を二、三丁行くと鹽川の橋この附近でも型はある。

川に沿ふて左りへ行くと細流が次から次と續いてゐる。

根よくマメに探れば何處かしらで釣り當てる。この邊から先は省線新小岩を利用した方が便利なので後程改めて御照會する。

### 一ノ江方面

東荒川から今井行き都電一ノ江下車、右へ這入る約二丁程で、右へ這入ると境川、釣友一ノ江鮎夫氏の繩張りで筆者はその一端を知るに過ぎないが、兎に角昔からの有名な釣場で境川から船堀川へ掛けて、刻、一刻と變化して行く潮の干満、その潮流に歩調を合して行く、獨得の釣味は捨て難いモノがあるので、チョツピリ御照會して置き度いと思ふ。

T字から左りも、ズウツと釣場で、先の方は浦安街道を横断して行徳方面迄延びてゐる。浦安街道へ出て右へ少し行くと左り側に、道から一寸引込んだ所に池がある。水深も手頃で、釣り良い池である。

だが、口細が煩さいので、練りを用ひれば本格である。

もとへ戻つて江戸川沿ひに、更に進むと用水の吐き出しが千本杭、本流と橋の僅かの間だが、早春の來込に或は秋口の落ちには見逃せない釣場である。

この用水の橋を渡らずに、左りへ用水に沿ふて行くと堰があつて、堰外でも良し、堰内の細流は、前記江戸川園の方から來てゐる細流と續いてゐる。

環境がよいので春秋の盛期には割方攻め手が多いのと潮時によつては魚影が見えるので、釣り方に多少の技巧を要するが少し注意を拂へばどうにかこなせるものである。

千本杭の橋を渡つて、對岸を左りへ行くと水門があつて、此處へ來てゐる細流でも釣れる。用水



を背にして細流の左り側を少し行くと呑應なしに左りへ曲る。この角から数間の間も釣れる。先へ進むと又再び浦安街道へ出る。これを横断して先のT字を左りへ行くと再びT字水路——この邊もよいが更に左へ、街道へ向ふと新井のお宮前附近ここは潮は相當引くので絞込みから上げが良いが、潮一パイからガンノ下げは面白くない。この邊から、東方猫實(ネコヅネ)の田圃中の細流も、途中は餘りよい釣場はなく海邊に近い細流には二三面白い場所がある。

### 行徳方面

今井橋を渡つたら左りへ相ノ川のT字路を構はずに約二丁程でお宮前の用水の堰、堰外から本流の間は千本杭の釣場に酷似してゐる。堰の内側を少し行くとT字水路、この附近も出る。

右へ行けば前記新井の細流に續いてゐる。

左りへ行つて學校前から右へ向ふと遙かに見える一本松、この附近もよい。先へ進めは十萬坪で

れば今ツ川、橋を渡つて更に本流に沿ふて二、三丁で舊の肥料工場の一軒家、この邊の土手下の細流が有名な新堀である。

工場附近からズウツと先迄曲り曲つて好釣場の連続である。

### 新小岩方面

省線驛東口下車、驛前を眞直ぐ賑やかな通りを約四、五丁行くと漸やく人家が疎らになつて改正道路に出る。左りに曲ると右側に見える道端の池淺いが相當廣くて魚も割方濃い。道端に面した所が釣場だが東側の横丁を迂回して北側の人家の前でも釣れる。

この横丁と、改正道路の接合點から東へ向ふ横丁を這入つて二丁程行くと、境川に懸る木橋に出る。

橋の少し手前道路の兩側にある溜りでも釣れるが人通りが激しくて氣分を損ねる。橋を渡らずに左へ直ぐの溜りとそれに續く細流から蓮田、暖かい日並ならこの蓮田で仲々よく釣れる。陽がカン

名高い丸濱の池、永い間ボラの釣り堀を經營してゐたが、今はどうか詳らかでない。この池の土手の外側にある細流や入口の小さい池等も出るが料金を取られる。二、三年前迄は三十錢位だったが、最近は何れ取るか判然としない。

### 當代島附近

浦安街道新井の前記用水を背に浦安へ向ふと次の宿が當代島、バスの停留場の細流、奥は猫實の海邊迄續いてゐるが街道附近がよくて途中は餘り芳しくない。

終點は一寸した池に繋がつてゐる。

この池にはイナが多いので吸込みでやると鮒交りで、春秋の盛期には相當の釣果が擧がる。眞夏にはこの邊の細流でオボコが釣れる。

### 浦安方面

浦安橋から江戸川に沿ふて舊の釣船宿の前を下

カン照りつけて南風でも吹いてをれば申分ない好條件である。此處も矢つ張り潮入りで大潮のドソコリには蓮田では拙い。蓮田の先は池に續いてゐる。この池もよい。

土手を一寸行つて、左りへ這入る横丁を曲つて、突當りを左りへ人家の先から這入ると、この池に出る。

前記の木橋を渡つて左り側にある池、更に進んで千葉街道へ出て左り二丁程行くと此處にも池があつてそれ〴〵釣れる。

市川方面へ向つて更に進むと有名な菅原橋、橋の手前道端の用水で盛期には釣人の三人や五人、大概頑張つてゐる。

菅原橋の右隣りの橋を渡つて人家の裏、此處も仲々人氣がある。

手前の堰の内側等では重なり合つて釣つてゐる風景も珍らしくない。

然し必らずしも此處だけではなく、水の堰の内外やその途中の對岸、更にズウツと奥迄、連絡として好釣場の連続である。奥へ行けば廣い蓮田へ通じてをって、ズツと奥から迂回して中土堤へ廻



れば、短竿で面白い釣りが出来る。

菅原橋から用水に沿ふて左りに這入れば、お宮前附近からその先の橋の附近、その左りにある一本橋（名稱）の附近、一本橋を渡つて少し行くと右側にある池等々。

この邊一帶が、釣場の連続で、お宮前の用水に沿ふて、省線の附近までかなり廣範圍にわたつてゐる。

もう少うし詳しく申上げぬと、まるで雲を掴むやうで、洵に相濟まんが何れは月刊『つり人』の方で詳細を御照會する心意である。

折角、釣場案内を申上げて仕掛、餌、現場に臨んでの一寸した注意等を少々申し添えて置かぬと、佛作つて魂入れずといふ事になるので、その點を大略申上げてお暇とする。

X X X

竿——時節柄、八釜しい事をいつても始まらない。

モチ竿でものべ棒でも間に合せば間に合ふのだが、新らしく求めるとしたら、一丈から二間

或は流線型でも結構である。

餌——盛期は極小のキジでもよいが、赤虫、ボッタが断然よい。

池等では練り餌もよいが現下の食糧事情では假令それが少量であつても、そのやうな事に使ひ度くない。

X X X

、借で準備は整つた。これで誰方でも釣れるのだが、幾分でも成績を擧げるには、多少の豫備知識も必要である。

同じ場所へ掛つても狙ひ所或は竿の操作に依つて大きな差が生じて来る。

結局、魚の習性をのみこんで、納得のいくやうにしてやるか否かと、巧拙の分岐點となるわけである。

先づ動作であるが立つたり屈んだりドタバタ歩いたり、それが煩繁であれば魚は遠方へ大部分去つて了ふ。静かに腰を下ろして釣るに越した事はないが自分一人だけの場合はそれでいゝとして、他の人と一緒に釣らねばならぬ場合、或は人が後

位、なるべくは軟らかい調子のが欲しい。

用ひるのは大概、六尺 $\parallel$ 八尺位に抜いて使用してゐる場合が多いので、八尺の竿でも、間に合ふのだが、風向ひで釣る場合、あるひは障碍物に引掛けた場合等を考慮すると矢張り長い方が重寶である。

道糸——人造一厘 $\parallel$ 八毛、寸法は六尺 $\parallel$ 八尺、竿を二間一パイにして用ひる場合でも減多に八尺以上の糸は用ひない。

浮木——小さい玉浮木一ヶとその上に極く小さい唐辛子浮木を附ける。

時には唐辛子を廢して、小玉浮木二ヶにして用ひる事もある。前者は少量の板鏝りで、辛ふじて沈まぬ程度、後者は辛ふじて沈む程度に調節して置く。

釣素——細い絹糸の吸込み、無ければ、人造の八毛位、あるひは普通の縫ひ糸を振り直してもよろしい。

寸法は六分 $\parallel$ 八分、但し流れの速い所は本テグス $\parallel$ 人造、五、六寸位。

鉤——袖の一厘 $\parallel$ 二厘、型は丸でもアブミでも

ろに立つた場合等、一々文句を言ふ譯にはいかない。さういふ場合、一體大部分の魚群はどの邊にツイたか？ その判断が適確であれば連續に釣る事が出来るのである。従つて自分一人で釣る場合でも場所へ掛つた最初は幾分自分の位置より遠方を狙ふ。五分間でも或は十分間でも静寂が保たれば必ず近づくへ戻つて来るので、竿を抜いて今度は近くを狙ふ。

遠方といつても必ずしも沖目や深い所とは定まつてゐない。

水温と陽氣次第では、極端な淺ツバにつくモノである。

X X X

附き場——大體藻類みや障碍物の廻りは常識となつてゐるが、何もない平場でも馳け上り氣味になつてゐたり、或は中島のやうになつてゐたりするとこれが存外馬鹿にならぬ場合が多い。一と口に藻類みといつても餘りに密生してゐる所は感心しない。表面から一寸見ただけでは氣の附かぬやうな疎らな藻で魚が樂に泳ぎ廻れる程度が理想的



な附き場である。

竿の操作——放り込んで眺めてゐてもマツが外れてゐなければ結構喰ふが、特にコブ釣りに於ては靜かに操つるゝが成績が擧がる。ノベツ急速度に動かすのも感心せぬがやんわりと動かしては止め、又動かしては止めてやる。

これとても只漠然と動かすのと、その意味を辨まへて操作するのでは雲泥の差が生づる譯で、動かすのは餌を廣く見せびらかす、所謂宣傳する譯なのだが、少し宛でも移動してゐる間は滅多に喰ひ附かぬ。

その習性を捉らへて、適當に止めてやつて喰ひつかせるこの心構へがあつて始めてその操作が生きて來るのである。

竿は長くとも、道糸は、めつたに長くしない理由は、此處の操作を、圓滑にする爲めに外ならぬ。

微風でもあれば勿怪の幸ひで、風力に依る糸の孕みを應用すれば、前後に、左右にと自由自在に操れるので、一段と能率が擧るといふ譯なのである。

## ダボはぜ釣り

はぜは子供にも釣れる。

わけても、ダボ鯊と來ては、喰ひついて放れな

い。こんなモノを釣つたつて始まらないと頭から馬鹿にして振り向きもしない。

それなら高級？の魚が澤山釣れるのかといふと今日は條件が悪い。風が悪い。陽氣が寒いとか何とか、尻理窟をコネてアブが通常のやうに心得てゐる釣師？が存外多い。

今や食糧事情は極度の逼迫をつけてゐる。

ぐづ／＼いはずに取つて喰へ。

ナアーシていふと、ボカリツとパン擲ぐられる。色は黒いが味見やしゃんせ、味は大和の……と迄はいかんでも、決して不味いものではない。ダボツクといつて以前は鮓佐あたりで、高級佃煮と

従つて條件の許す限り短竿を用ふ可きで、短かい竿で済む場合は、魚信も極めて明瞭で魚の呼吸（餌の吞吐）する状態迄が讀み取れる譯で其處にこそ小鮓釣りの醍醐味が有るのであるまいか。赤虫やキジの場合は滅多に餌を失敬されるやうな事はないが、ボツタの場合、チヨイ／＼失敬される。

始は忌々しいと思ふが、其處がそれ、御馳走政策とやらで、釣にさせぬやうな細かい奴を釣に揃めてサーヴィスする。

次に、今度は小さい奴を一匹附けにしたり、あつては半分だけ附けて、引掛けるといふ譯だが、時々このサーヴィスの餌に大型が來て吃驚する事がある。

以上は大體池や細流の流れの無いやうな所を對象として述べたのであるが、潮流のある、例へば境川のやうな所の釣り方をも詳述せねば纏まりがつかぬ。

だが、思はず話しが長びいて割當の頁數を費やして了つたので、これはまた次の機會に申上げることにしよう。

して鳴らしたものだ。

## 隅田川筋

隅田川の淤水も戦後、工場や民家の悪水が夥しくなつたのでスツカリ淨化されて澄田川と呼び度い程だ。

マルカやボラが時々ハネを見せる。昨年は眞夏から晩秋へかけて、はぜや、せいごや、ぼら等が釣れ盛つたので、今年とても釣れなからふ筈がない。

先づ今年のトップを承はるダボ君に見参せんと（眞鯊には少うし時期が早いのだが）五月の始めに試釣したのが、釣はへたでも、うまやばし、眞鯊、ダボ鯊、取りまぜて、あつちで八尾、こつちで十尾、捨ひあつめて三束あまり、兎に角結構釣りになる。

眞鯊といつてもデキ計りなので寧ろダボ公の方が太つてゐるだけマシな位で、分量に於ては幾何もない。

だがこの分では六月の中頃から秋口へ掛けては



素晴らしい釣果が擧がるものと確信する。餌のゴカイは、川筋一帯にゐるので、買はずに済む。

必らずしも、ソコリで無く共、半分位の上げ下げなら、ヘチで結構掘れるので、ノウマネーで結構である。

先日の試釣は、うまやばし本所側の際から、蔵前橋までと、蔵前橋、西岸（目下屑金の山）の下流から柳橋邊り迄だが至る所で釣れた。

昨年は神田川でも和泉橋邊りから吐き出し迄の間で真鯿の型のよいのが相當釣れたし、赤羽方面でも釣れたので、兎に角上は赤羽から、下は相生橋迄隅田の川筋一帯が釣場であるといへる。

斯様な譯で、月島から洲崎方面も悪からふ筈はないが、昨年も今年も御無沙汰してゐるので一應再調査の上申上げるとして、先日試釣済の葛西方面を御照會する。

### 葛西橋附近

都電終點下車、橋手前は上下流一帯に釣れる。

やうな時でも樂々と釣れるのが取り柄である。

大川との合流點から數丁の間、兩側共仲々良く釣れる。

船堀橋から上流も、向つて右側が小松川橋邊り迄上げ潮には一帯に釣れる。

今井橋を渡らずに、橋際から下手數間の間も良い。石堀みでよく釣れるが、今井終點から橋とは反對に浦安橋の方へ向ふと、道と河岸とが一緒になる。

この邊から下流一帯、新川橋を経て浦安橋附近迄、更に下つて雷（イカツチ）邊り迄、江戸川の兩岸共釣場である。

雷の道路と併行してゐる用水も潮のある時は仲々よく釣れる。

更に下手の肥料工場の附近は小鮎釣りで有名な新堀の外側からズウツと下流迄一帯によい石堀みで好場所となつてゐる。

今井橋から上流は橋向ふの相ノ川から行徳へ向つて小鮎釣りで申上げたお宮前邊りから本流へ出て上流一帯が釣場で、ソコリ廻りには各洗ひ場や棧橋を次から次と釣り歩く。更に上流迄ノセば行

但しドンソコリには足場が悪いので七分上げから三分下げ迄がよい。橋を渡つて、中土堤、これは土堤の兩側で釣れる。

荒川の方は高壓線の附近がよいが、矢張りドンソコリには駄目なので反對側の方を狙ふ。上流の大水門の附近迄、ズウツと釣れる。

下流は橋の附近は小さい方の側だけだが、ズツと下がつて吐き出し附近迄行けば兩側共釣りになる。

この邊は、大川の方が捨石があつて、條件がよい。

小橋を渡つて小島側、上下流共コンクリートの土堤だが、干潮には届かないので棧橋の上でも拜借に及ぶ。小橋の上手の水門際は内外共、ソコリから上げツ端方には船の出入りが煩はしいがよく釣れる。

葛西橋から、上手に見えるのが船堀橋、小島側を二、三丁で船堀に出る。

此處ならソコリでも結構短竿で釣れる——初夏から秋口へ掛けての大南で大川筋では釣にならぬ

徳水門の附近にも好場所が展開される。

### 京濱方面

京濱方面では川崎下車、六郷の鐵橋附近は餘りにも有名である。

蒲田で下車して羽田迄ノセば海老取川の鯿釣り。これはまた例年釣れ盛る八月から九月へ掛けて、チンノノが交つて以外の強引さを見せるのも嬉しい景物である。

鶴見で下車して鶴見川、國道驛附近から下流一帯、干潮時には底が穢なくて餘り氣分はよくないが魚は仲々濃い。

未だノ、各方面に互つて申上げ度いが際限が無いので、仕掛だけ大體申上げてお暇する。

竿——は強目の八尺から一丈位、抜いて五、六尺にして用ひる場合が多いので引通してない方が便利である。

道糸——人造一厘Ⅱ一厘半、五尺Ⅱ八尺。

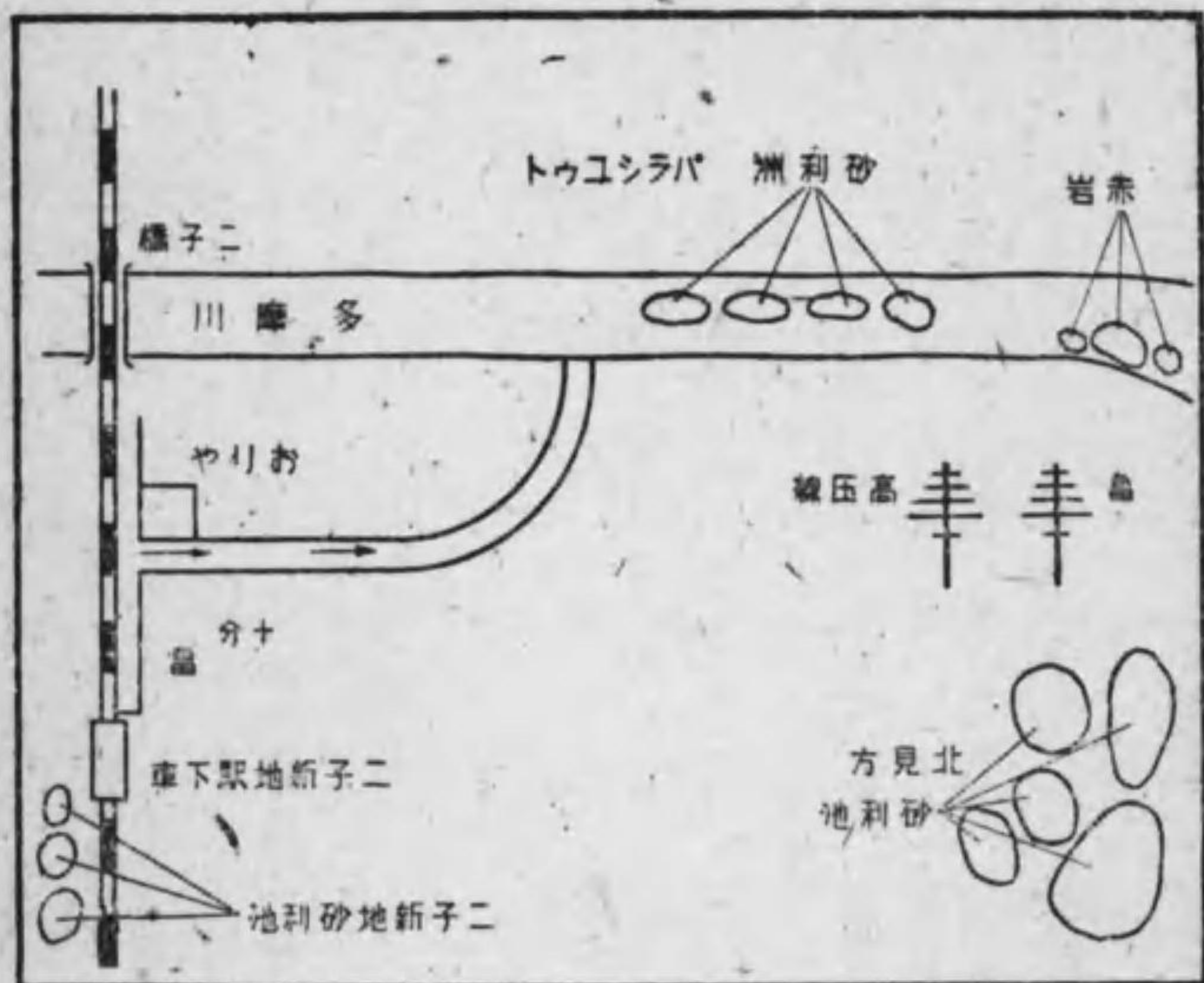


釣——袖の二厘、三厘、型は好みに依る。  
 釣糸——人造、或は本テグス一厘、寸法は八分  
 一寸。  
 錘り——玉一匁、二匁、時には斜になつても成  
 る可く軽小方が有利である。  
 餌——ゴカイ、いとめ、きじでも喰ふが成績は  
 舉らない。

### 多摩川下流のヤマベ

#### 二子橋附近

澁谷驛から東横線へ乗り自由ヶ丘で大井線溝ノ  
 口行に乗換へ、二子橋を渡つてすぐの二子新地驛  
 で下車する。賃金は澁谷驛から片道九十銭。  
 下車したら踏切を渡つて通りへ出、ダンス・ホ  
 ールのあるところを通ると、すぐ多摩川土手へ出  
 る。  
 そこから河原まではちきである。



### 大森大倉屋復活開店 特製竿大量入荷 大森大倉屋釣具店

東京都大森區入新井五ノ二三二  
 八幡通中程省線大森驛より徒歩十分

この附近は、四月中旬すぎると毛釣のふつとば  
 し釣りが面白い。  
 午後四時すぎから、夕方うす暗くなる時分まで  
 がよく釣れる。  
 竿は二間半位がよい。八毛位の本テグスでも、  
 人造テグスでもよい。  
 約一ヒロにたいしハヤ釣、アゴツキ毛釣、宇川  
 式、七本乃至八本、五寸間隔に、ハリス一寸五分  
 位に逆に結びつける。  
 そしてウキは丸ウキを毛釣から一尺はなれてつ  
 ける。

竿と道糸の長さは、右手を一ばいに伸して竿を  
 上げ、最先端の毛釣が左手でとれる程度がよろし  
 い。  
 舊監視所下は深所で、ウキ下四尺から六尺位の  
 ところで、餌をチヨロ虫でやるとカタのよいハヤ  
 が腕のよい人なら三十尾や五十尾は釣れる。餌の  
 チヨロ虫は河原の水溜りにゐる。これは目の細い  
 金網ざるか、圧網にガーゼをかぶせ、虫のもらな  
 いやうにしてとるのである。  
 餌のつけ方は、背中から尻尾につけて釣をかく  
 す。  
 もし餌がとられても、尻尾の三本が残るやうに  
 ならなければ、腹や頭部だと餌はすぐ死んでしま  
 ふ。  
 生きた餌を、泳がせないとい、ハヤは食ひつか  
 ない。  
 しかしこの餌はチヨロ虫に限つたことはない。  
 川の石裏にゐる虫、オセコでもまた芋虫でもよい  
 のである。  
 釣は流線型一厘、エビ新製一厘がよろしい。



リスはなるたけ本テグス三毛、四毛、五毛まで、五毛以上はあまり感心しない。竿は、なるべく軽く、竿先の柔らかいものがよい。

ハリスの長さは五寸以上一尺までである。道糸は、ハリス上は六毛、八毛、道糸の細物八本綾止、一厘以上は太すぎて駄目である。ウキは視力のきく限り、小ウキがよい。

### クリーニング

#### 洗場の前邊り

二子新地驛を出るとすぐ經木箱やおりやの看板が目につく。この横を十分ほどゆくと多摩川下流へ出、ちやうどバラシニウト前側に砂利山の洲がある。

足首位の水をチャブチャブ渡つてゆき、この洲を足場にして深んどをねらふ。川虫、ドブ、毛鉤、ウキ釣りよろし。

これからまた下へゆくと大きい岩がゴロゴロした赤岩だ。ポイントよろし。

ハリスは三毛、四毛、餌はネリウドン粉を主としたもの、ご飯粒、または池にゐるエビ、エビガニの身を使ふ。

シラタエビは澤山ゐる。この竿は、三尺位でよい。餌は、キチ鉤はエビ型一厘でもタナゴ鉤でもよろしい。

數にしたら、一日何百尾も釣れる。

また前に戻つて、二子新地驛から二子新地の花柳界の前にやはり砂利池がある。

仙寅の前の大きい池は、せんだつて油を流したため、魚はみんな死んでしまつて駄目であるが、池は他に三つも四つもある。ここにある魚も、前の池のとだいたい同じものであるから、仕掛エサは前に準じたものでよい。  
次に、地圖によつて、種々の釣場案内を試してみよう。

### 川崎用水

#### 六郷用水

大井線高津驛下車、踏切りを渡つて高津警察署

このまた下、クリーニング洗場の前の岩の淵を流せばよいハヤが来る。ここでもし風が出て、どろしても竿がふり込めなかつたら、そのときは砂利池へ逃げ込む。

### 砂利池

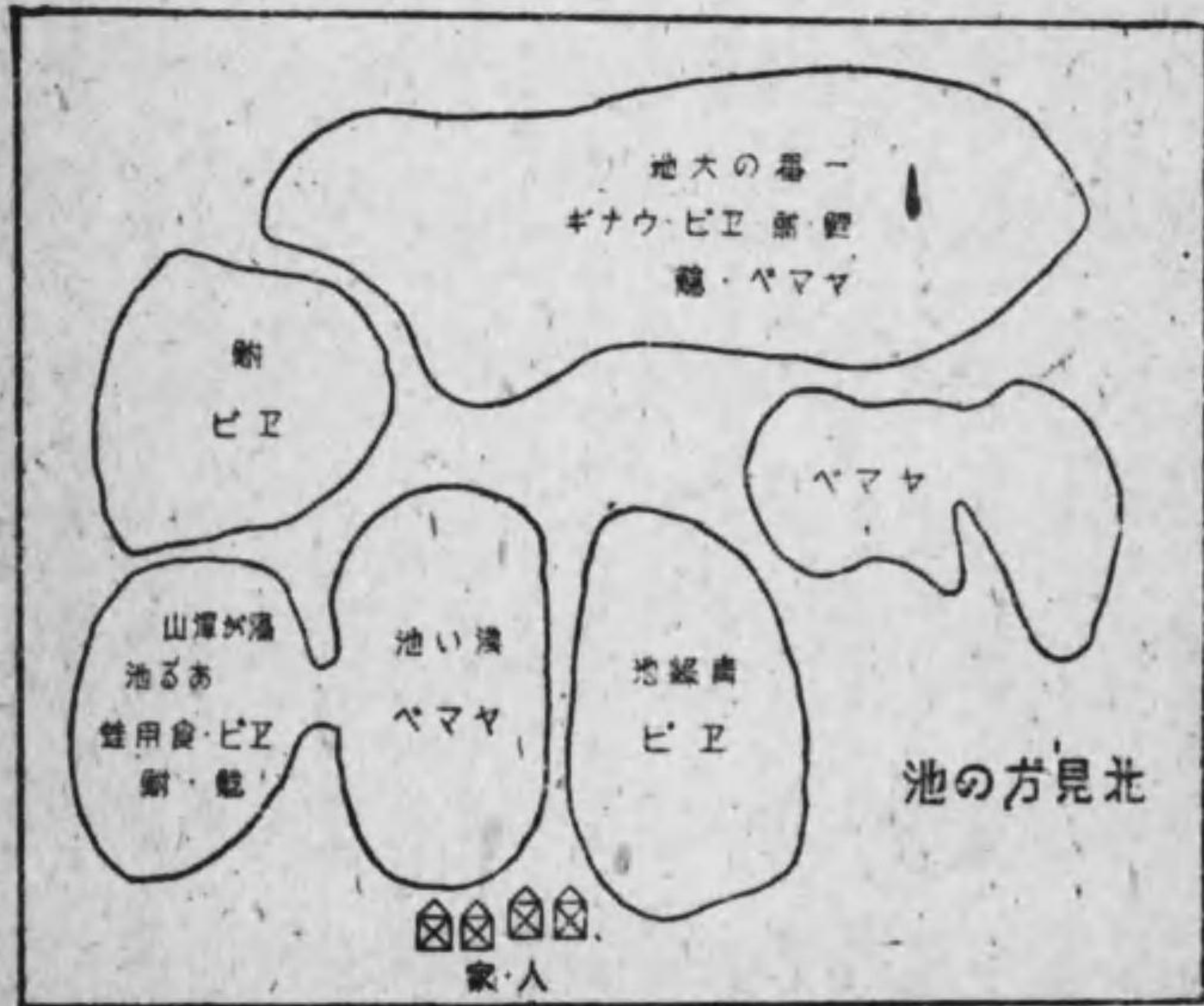
このすぐ裏の土手下に高圧線がある。この高圧線のところを入つてゆくと十分ほどで大きな砂利池が三つと小さなものが四つばかりある。  
藻の澤山ある池は鮎、ナマズ、ウナギ、食用蛙だ。

一番奥の池には鯉が澤山ゐる。

三間以上の竿でキチ餌。または吸込ネリ餌釣り  
がよからう。

小ヤマベ専門に釣るのでつたら小さい池の方がよい。

この池ではヤマベのハネが盛んにみえる。  
二寸位から、大きいのは六寸位で、カタはわりとよろしい。  
竿は一間か一間半で、ウキは小ウキ、鉤は一厘





前を通り、驛から二十分ほどゆくと川崎用水へ出る。ここに水門があるがこの上手でヤタバが釣れる。

餌はサシ、ネリ、川虫である。このずつと上手にもよい場所がある。南武線中の島で下車、河原でやるとハヤ、ヤマベである。

竿は二間半、三間。

その先、矢の口驛に小ヤマベのゐる砂利穴池がある。餌はネリ。

戻つて小田急和泉多摩川で下車して右へ五分ほどゆくと廣大な一圓釣堀和泉園があり、手長エビがなかなかよく釣れる。鮎、鯉、ヤマベを釣るなら吸込式がよい。竿は二間半、三間。ラセンのところへ絹糸二本各、鮎掛釣丸形の七分を六本つける。

そして、ウキに變動があつたら、グイとあげればヌレて上つて来る。

そこから逆に左へゆくと、七つほど砂利池がある。そのうち一番よく釣れる二つの池は禁漁池になつてしまつたが、他の池でも釣れないことはない。

ネリ餌、キチだつたら鮎。タナゴもゐる。

### 多摩川の鮎

今年の鮎は有望である。調府河原是政に一萬尾放流済み、後近日中に二子附近と下野毛附近に一萬尾、立川から昭和にかけて一萬尾で確實なところ三萬尾、後何萬尾か何十萬尾放流するか。

× × ×  
 ドブ釣り六月一日解禁、友釣り、掛釣りは八月一日解禁。ドブ釣り一日五十銭、一年間十五圓、友釣り、掛釣り一日三圓、一年間三十圓。放流鮎は一尾二十五銭もかかつてゐる。

川へ入る釣師は、必ず多摩川附近の釣具店から入漁券を求めていつて、タダ釣りをやらないやうに見廻りの人にこれを見せること。

入漁券は、東京、神奈川どちら側の釣具店でも販賣してゐる。

い。ネリでやればヤマベ、キチでやればエビ、ウナギ、鮎、鯉、クチボソである。

同じく南武線久地驛で下車して十分もゆけば壺池、堰の池がある。ネリでヤマベ、キチで鮎。多摩川線では終點二子玉川で下りたらすぐ砦行の電車に乗換へて、大倉池の手前の吉澤池といふところまで下車すると、多摩川つづきの六郷用水がある。

キチでやれば鮎も来る。川虫、ネリ餌でやればハヤ、ヤマベだ。この邊は上流わかもとの先までよい釣場がある。

竿は一間半もあればよい。

序に大倉池の場代は一圓、竿は二間以上三間もあればよい。種々の魚が釣れる。

この先にキヌタ池がある。砂利池の魚はだいたいの同じであるから、ここでは仕掛は省く。

このキヌタ池から、わかもとの小橋を渡つて街道の向側へ出ると水車小屋がある。この先を十分ほど入ると、あまり人に知られてゐない次太夫堀がある。ヤマベも鮎もよい型のがゐる。サシ餌。

× × ×

鮎の好む釣はときによつて違つて来る。

三月頃はホタルカゲ、勝山だつたが四月に入つてからは金太郎、八ッ橋、五郎、オキナ、キリシマ。

五月に入つて茶三光、スルスミ、ヤミガラス、五郎、黒エビ、八ッ橋、荒巻、小巻、お染、赤角お染二の字である。

この二三日は黒カニ、黒お染、香魚、世界一、クマ、永樂、中金などに来る。結局二三本、多敷種持つてゐれば間違ひない。

釣具一式なんでも

揃ひます。

銀座釣具商會

東京都京橋區木挽町二ノ六  
 銀座二丁目三共横豊玉橋際



## 鮎釣場巡り

### 相模川の鮎釣り

東京近郊で鮎釣場としては第一に相模川を挙げねばならない。

富士山麓に源を發して、桂川となり相模川となり、馬入川となつて太平洋に注ぐ。水量多く、水垢の發生良好で、天然魚の遡上多く鮎釣黨垂涎釣場が連続してゐる。

鮎は比較的小型であるが、初期三十匁の鮎が友釣に掛かるのも決して珍らしくなく、腹郁たる鮎の香に富み、腹中に砂氣のあるのが唯一の缺點であるが、肉しまつて食味としては優良の部に屬する。

一時は與瀨地先のダム構築に對して心配したけれども、事業完成後の今日になつてみれば一得一失であつて名釣場の資格を失はない。つまり津久

井郡久保澤、小倉橋上手の排水口より下流は往時のまゝであつて、排水口より下流、名釣場荒川橋名手等の附近は水量半減して昔の面影を偲ぶ事ができない。

與瀨附近は湖水となつて、勝瀨附近の思ひ出の釣場は湖底に沈んで果つた。

併しその上流鳥澤、猿橋、大月附近は毎年多大の放流が行なはれてゐるので友釣場として續けられてゐる。

一時悲觀したダム構築も、與瀨小倉間こそ水量減じて悪くなつたけれども、その下流一帯は大して影響を受けてゐない。

かへつて湖が天然の淨水作業を行なふから、夕立の赤濁りがあつてもその水の澄むのが甚しく早くなつたので、ドブ友釣黨には好結果をもたらしてゐる。

相模川の特徴としてはその下流は水の増減のある事である。これには罔箱、魚監等を不用意から流しせしめる事があるが、これによつて魚の移動激しく、釣場の移動適切ならば好結果を齎すが研究不足の場合は釣にならない。一般に、水量少い

時はドブ釣がよく、水多くなつては友釣によい。ドブ釣の當り釣は八ッ橋（荒巻、中巻、小巻）黒仙石、暗烏、新魁等である。

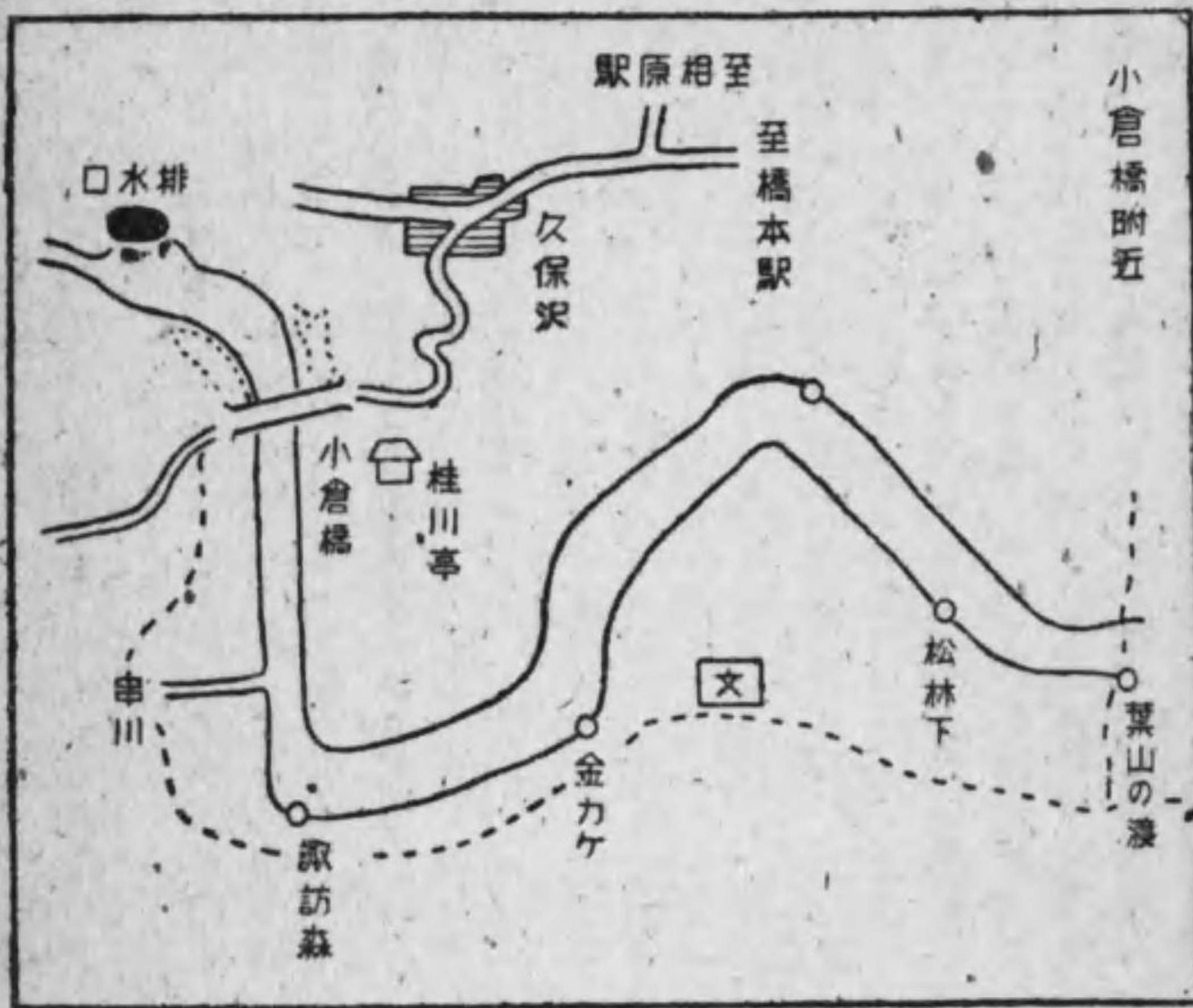
### 小倉橋附近（相模川）

横濱線橋本驛下車、バスで久保澤、小倉下車、歩いて桑園散歩一時間の行程である。所謂津久井溪谷の終點で、風光絶佳、前に翠綠滴たる城山を右に仰いで、好釣場の連続であるが、八王子、東京の釣人出漁多數で頗る賑やかな場所である。

ダム構築の結果、この排水口と磯部の堰下が二大釣場になつて、ドブ釣黨の見逃がせぬ處となつた。この上流からは水量半減するし、比較的冷たい水が排水口より出るので、水垢の發生が悪いかから鮎が未だ若く、鮎の溜場所となるのは否定出来ない。

その結果、ドブ釣にはよいけれども罔には初期好結果ではない。

それにこの附近はコログシが多いから安じて「友」を引く事も出来ない。





小倉橋上手が排水口となつて、その下手諏訪の森のドブ場所の間は友、コロガシの場所で、金カケ、エノキドのドブ大場所、小場所も点在してゐる。

宿屋は小倉橋畔桂川亭であるが、前から豫約しておかねばならない。併しこの附近の鮎漁師と懇意になつて米持参で頼むのも一方法である。

場所の狭りから急所を改めるには船でなければならぬ。船も妙いし、古い客があるから餘程巧く交渉することが必要である。

入漁券は久保澤、小倉で賣つてゐる

### 鮎の

#### 三ヶ木・荒川橋附近

この附近一帯は水量半減して往時の面影を偲ぶ事が出来ない。老廢釣場とはいへ、出漁者少く、場所を採れば意外の好結果を得る事が不可能ではない。それに水量減じた現在、最大の武器であつた船を必要としなくなつたから輕装で廣範圍に探

る事が必要である。

荒川橋附近では鐘ヶ淵、心中淵、寢屋淵、三ヶ木附近の水神、一本松、オツボリ等のドブ釣場所がある。初期にはドブ釣で快心の釣も決して捨てたものでないけれども、水量不足で荒され易いし永續性はないが、釣人減じた後になつて、友釣では面白い釣が出来よう。

水量少いと魚が少いと思ふけれども、比較的水温高く、友釣技術の水準はこの附近の漁師は意外に低く悪いとか良いとかの話も當にならない。よく探つて見る事である。

昨年一昨年も豫想通り三十、三十の漁があつた。

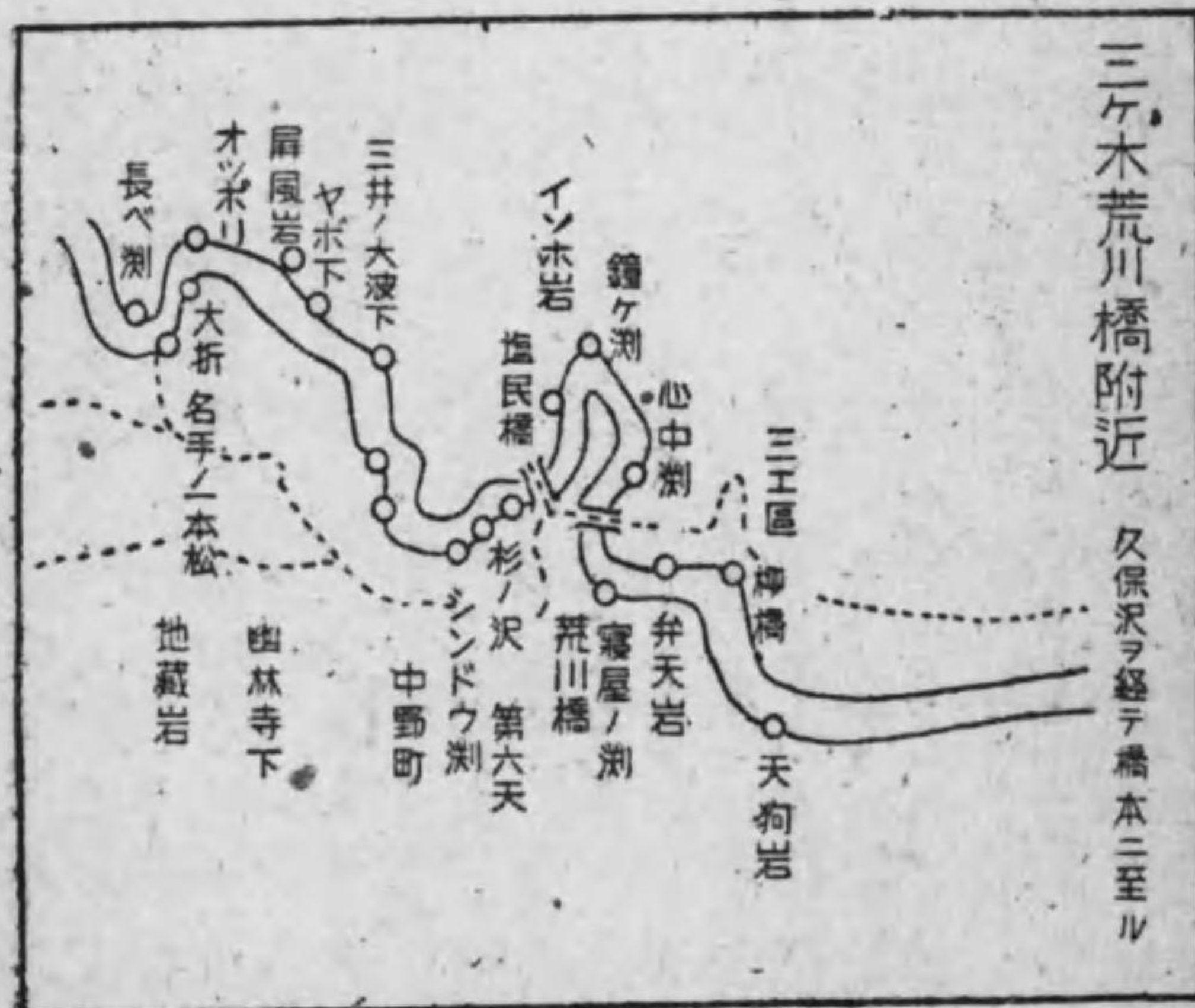
順路は橋本からバスで、荒川橋、中野、三ヶ木で下車すればよい。竿はドブ釣で四間、友釣で三間半もあれば充分である。

### 鮎の

#### 田名附近（相模川）

#### 三ヶ木荒川橋附近

久保沢ヲ經テ橋本ニ至ル



横濱線淵之邊驛からバスがあつたが、今はどうなつたか。

相模鐵道上溝驛下車、途歩一時間で高田橋に達する。

この附近は觀樂境であつたが、造兵廠の工員宿舍となつて、一頃は大分賑やかであつたし、その爲にバス連絡が比較的樂であつたから出漁者が多かつた。

それに、こゝ二三年甚しく、コロガシから友釣に轉向された事である。一帯は友釣場所の好釣場が展開されてゐて、充分に友釣を樂しむ事が出来る。

朝早くは一樣にコロガシで罔採集ができると皆友釣を始めよむ傾向になつたが、一部にはまだ附近で友釣を始めても相變らずコロガシをしてゐるのがあつて氣分が甚しく害される。

橋附近の沈床附近はドブ釣の大場所をつくつてゐるが、船でなければ面白い結果は得られない。友釣場は連續してゐて、特に橋の上手、渡船場附近がよい。この附近には友釣達者な遠征釣師多く淵を攻めるやうになつた。大體相模川の漁師は淵



の友釣を知つてゐるが淵の友釣をあまりやらないし、コロガシ黨が多く淵に大分追ひこんでゐるから、沈床の深みを、一本釣の掛釣使用で淵を入れてみる事が面白い。

それには沈床をすかしてみてもはみ跡をみて、掛りに注意してやれば一、二匹淵をすつても、大型鮎をかける事ができる。

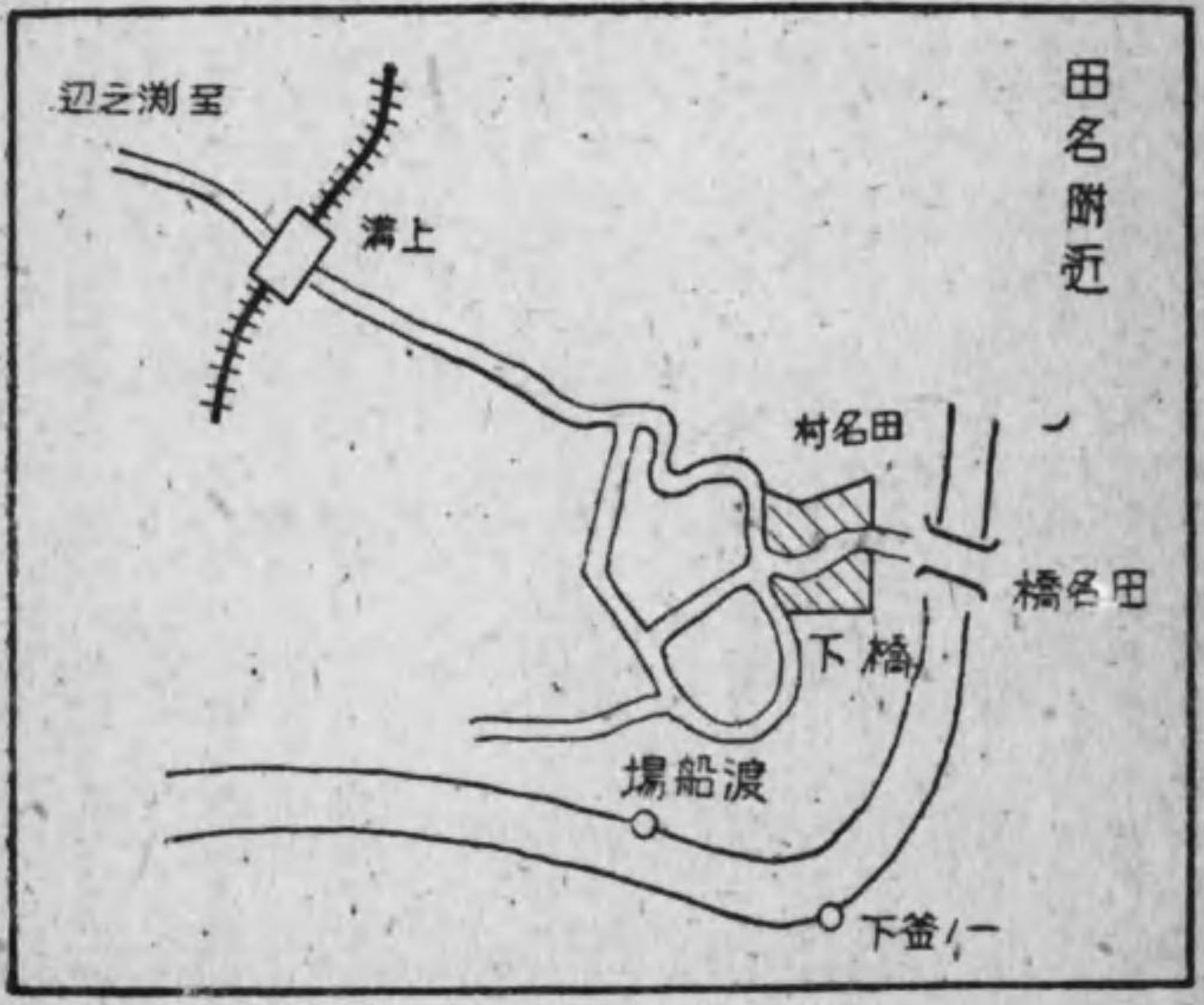
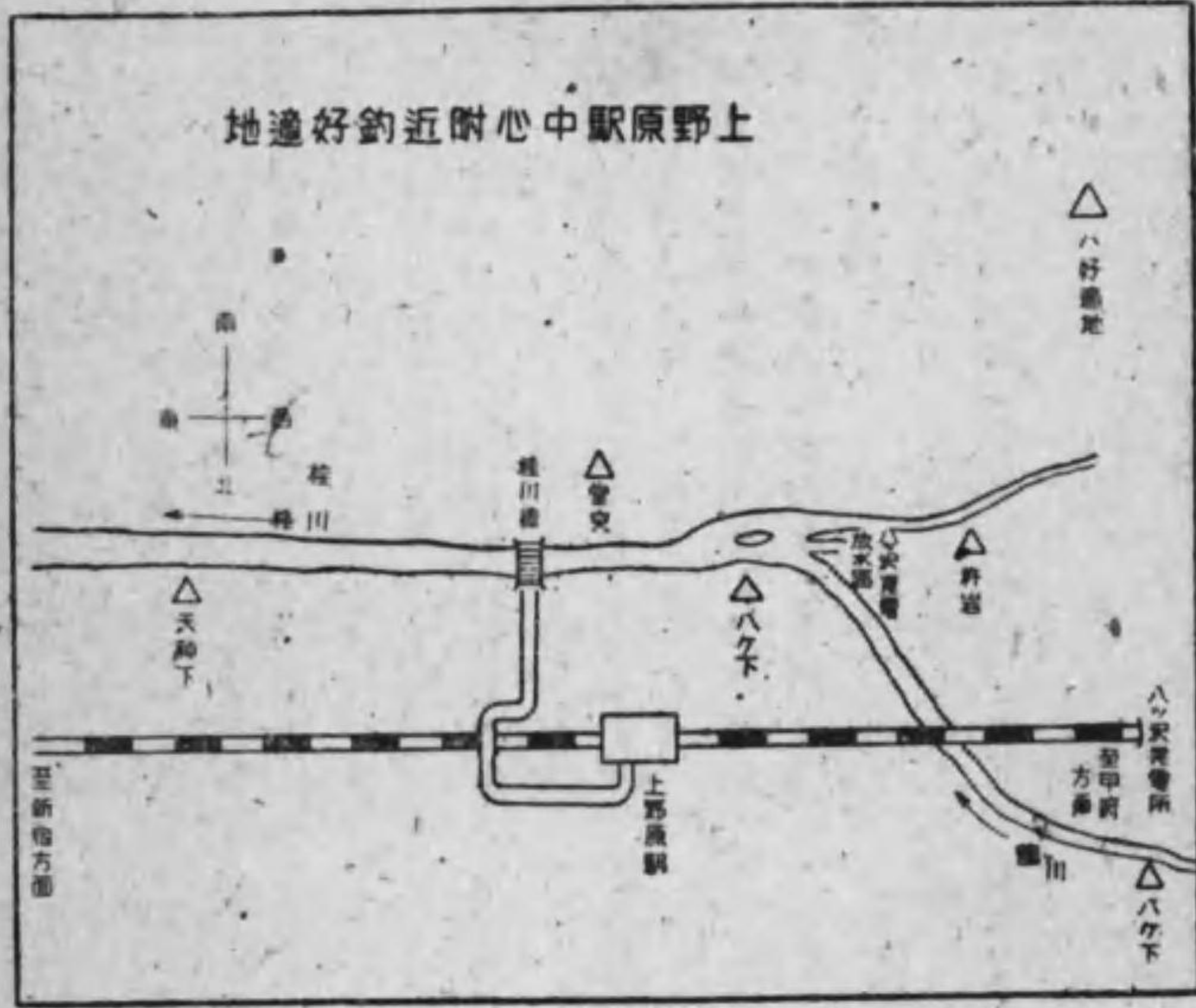
### 桂川下野原附近

ダム工事に寄つて断絶した桂川の鮎釣場も放流によつて再生した。本年(二十一年)既に四月八日、四萬尾、五月二日四萬尾計八萬放流が行なはれ、四十八萬尾の豫定であると謂ふ。

戦時中でも、放流は續行されてゐたし、今後放流の中絶はあるまいと思ふから、期待しても大丈夫である。

解禁は六月十五日から十月十四日迄で、入漁券は一日五圓、一年五〇圓。

釣場は日本發送電燈、八ツ澤發電所放水路附近依水莊ホテル下の杵岩、驛より正面に當る堂突、



桂川橋をはさんで其の附近一帯八月中旬以後の産卵期の時期は桂川橋下流天神橋までは好適とせず當天神下下流は神奈川縣河川統制事業淡水(ダム)の爲不適地。

船代は一〇〇圓以上、宿屋は見晴亭、河内屋、船橋屋、萬屋等あれど、米一食一合持参の上二十圓以上。

### 鹽川の鮎釣

秩父、八ヶ嶽の諸流を合し、鹽川は、葦崎町附近で釜無川と合流して、富士川の上流をなしてゐる。

富士川のダム構築の結果天然鮎の遡上少く、現在では、葦崎町峡北漁業組合長小屋忠子氏の、熱愛奔走に據つて、毎年多數の琵琶湖産稚魚の、放流が行なはれてゐるので、大釣場として知られてゐる。

鹽川は發育は素晴らしく、底石も大ではあるが河床荒れ易く、夏季減水して青ドロの發生多く毎年解禁が七月初旬であるが、初期は未だ水温低く



掛りが悪いが、川原廣く、釣場としては樂な場所である。

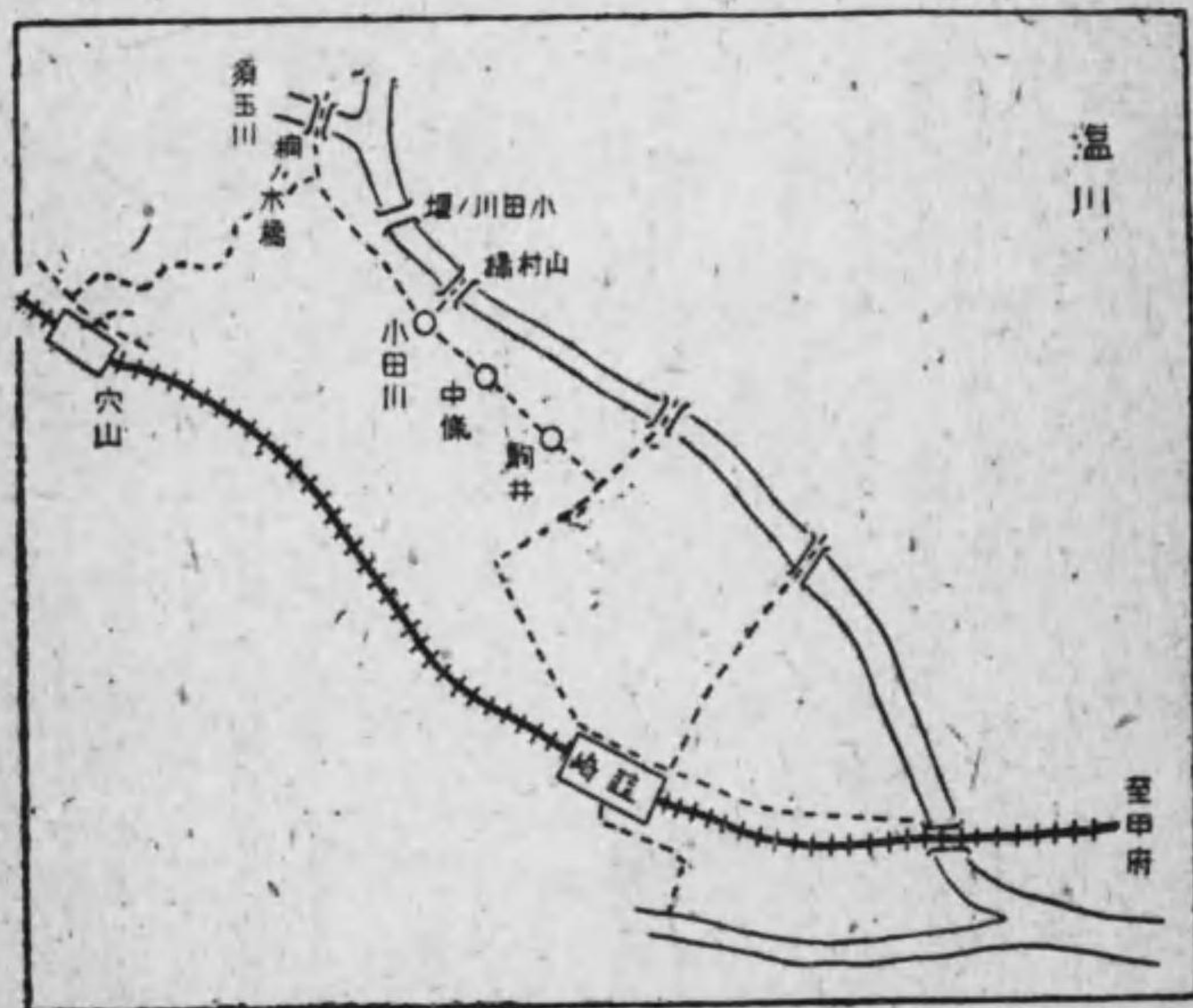
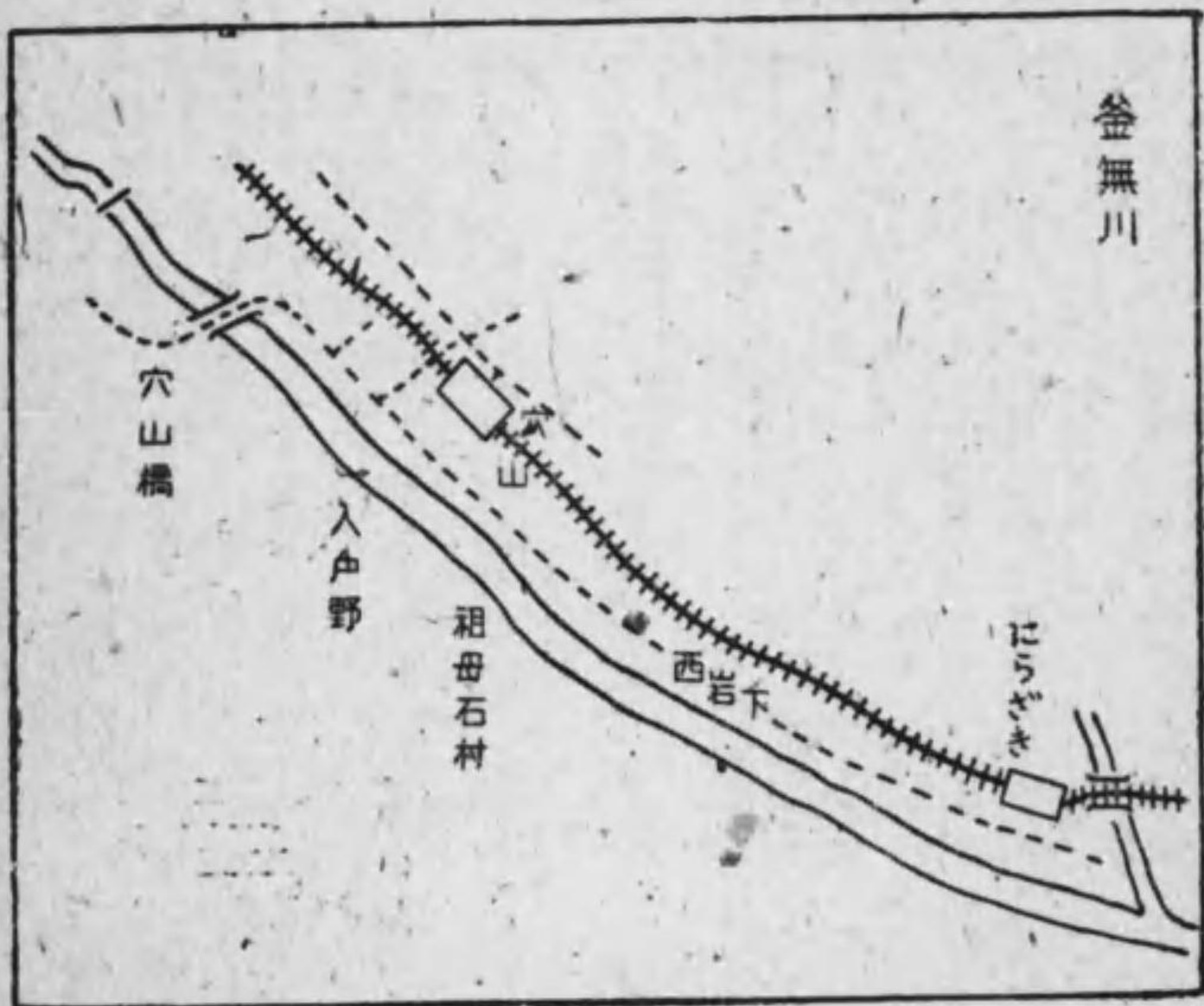
併しこの釣場は夏季減水時に網でとるので、それ以後では期待が出来ぬ。上流は主として、小田川堰迄が好釣場で、その上流一里ばかりは鮎が遡上するけれども、釣場狭くて、分布に濃淡があるが探れば面白い。併し須玉川合流點まで、その上流へ遠征の必要はない。須玉川は、水温高いが遡上鮎は僅かである。宿屋は韭崎にあるだけである。

漁業組合があるから入漁券を受けて、罔と案内を受けるがよい。

鹽川の條件の悪い場合には釜無川に代けてもよく、水の状況が兩川甚しく異なるから注意すべきである。

なほ韭崎驛より八巻、百觀行バスがあるから、中條、駒井附近の出漁も面白い。七月一日解禁の豫定。

### 釜無川の鮎釣



鹽川と共に峽北漁業組合によつて毎年鹽川、釜無川合流點に放流されてゐるが、鹽川より釜無川の方が昨年は成績が擧つてゐた。釣場は韭崎驛下車が宿泊出来て便であり罔も組合に依頼すれば便宜を計つてくれる。数は多く共發育は鹽川より落ちるが、味は釜無川に軍配が上る。

底石は割合に少く白岩白砂で、水は南ア連峯の雪水であるから清澄そのもので、底石白く掛鮎の状態がよくみえて綺麗である。

川に沿つた街道には臺ヶ原行のバスが通つて何處でもゆく事が出来る。

昨年は、穴山橋附近に出漁したが、この附近は穴山橋圓野村の釣人一人であつたので、面白い日が續いた。

掛りは非常によく、鹽川では青ノ口發生で釣にならなく共この川では結構釣る事が出来た。

こゝへ出漁するには韭崎驛下車より、穴山驛が便で、七里岩を降れば二十分にして川へでる事が出来る。宿泊は圓野村で依頼すればよく、罔がなければ



瀬サクリでどつてもよい。穴山橋の上手に堰があつてその下手一帯は魚が濃く、排水路に非常に鮎がたまるので、サクリをすると面白いとの事である。堰の上手は水量多く、好釣場が続いてゐるが魚影が少い。併しこゝへ放流すれば面白い釣ができるし日野春驛下まで釣場となるが放流如何に依る。

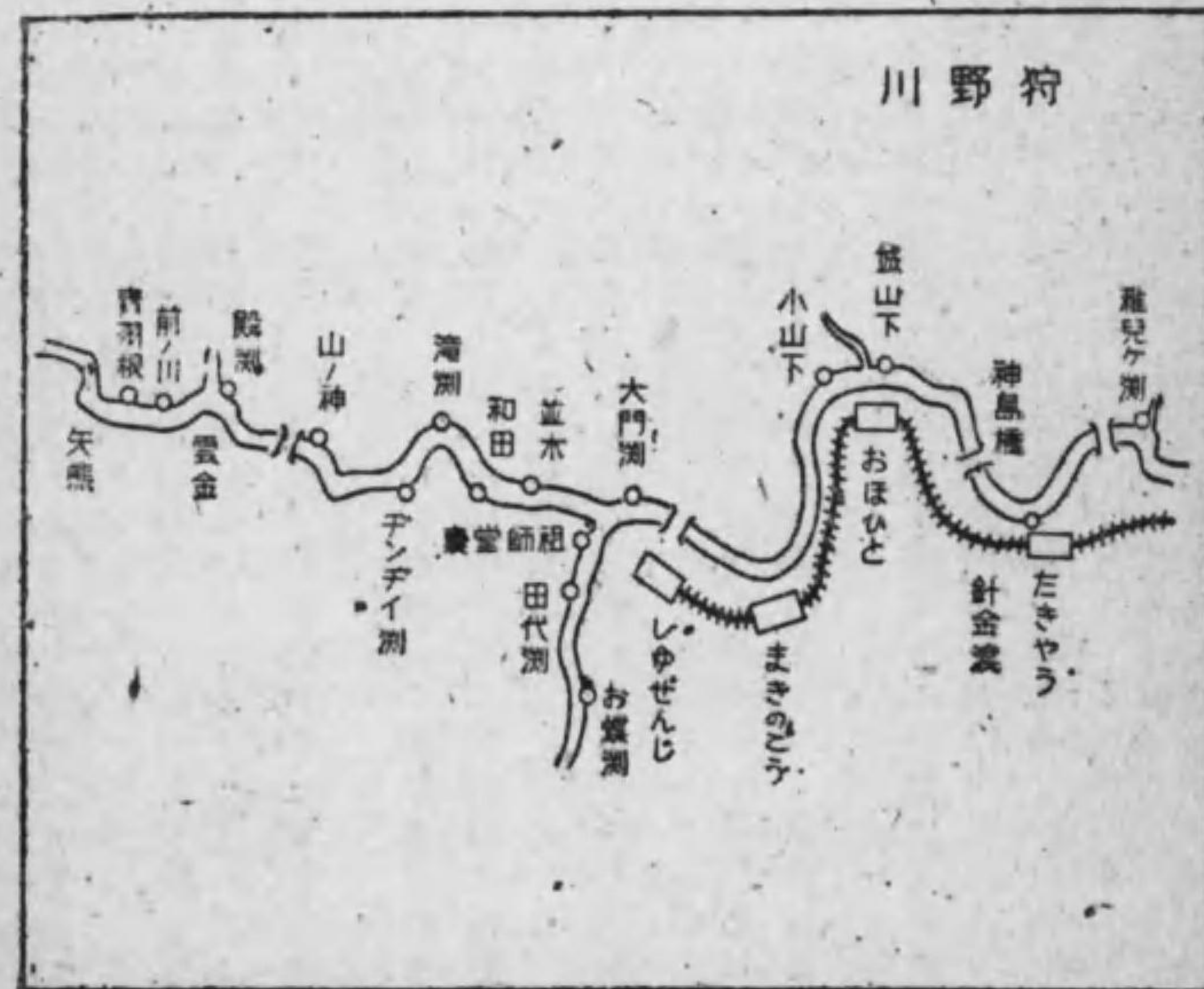
鑑札は鹽川共通で、峽北漁業組合で下附して呉れる。

年鑑札と日鑑札とがある。

### 狩野川の鮎釣

鮎の解禁は、毎年狩野川の五月十六日からである。天城山から流れ出して湯の磐巖る南國の川、氣候温暖で水温高く、水垢の發生が素晴らしいから鮎の發育が優れてゐる。そして底石が大きく、罔の巧者揃ひの狩野川漁者の間に交つて、友釣黨は一度出漁の用があらう。

順路は東海道三島驛下車、駿豆線に乗替へて長岡から終點修善寺驛下車がよい。以前は修善寺下



流が釣場とされてゐたけれども上流はドブ釣、友釣共有望である。

田京驛下車稚兒ヶ淵、針金渡、神鳥橋、大仁下車、小山下、水晶山等で大仁、牧之郷間は狩野川きつての友釣場所である。修善寺から上流は、兩岩相狭り、支流大是川と分流するので、下流よりも釣り易い。

本立野、雲金、矢熊、嵯峨澤橋等には好釣場が展開される。

下田街道にはバスが運行してゐるから出漁には便である。

支流大見川は水量多い時には、友釣にも好結果を得るけれども田代淵、お蝶淵は毎年ドブ釣黨は成績を擧げてゐる。友釣は下流をドブ釣は上流を狙ふが、先づ狩野川の解禁日の策戦であらう。入漁券は一年又は日鑑札とあるから何れかを買へばよい。

宿屋は長岡、大仁、修善寺驛附近、本立野、矢熊等にある。

昭和二十一年五月十六日解禁、水温低下で發育不良。

七月初旬にならねば見込なし。  
入漁券は一日三圓、二日五圓、年五十圓。

### 富士川

日本三急流の一、天下に誇る大鮎と奔流に友釣の垂漕場であつたけれども、發電所の各地に出来る様になつてからは昔を偲ぶのは下流地帯のみになつて畢つた。

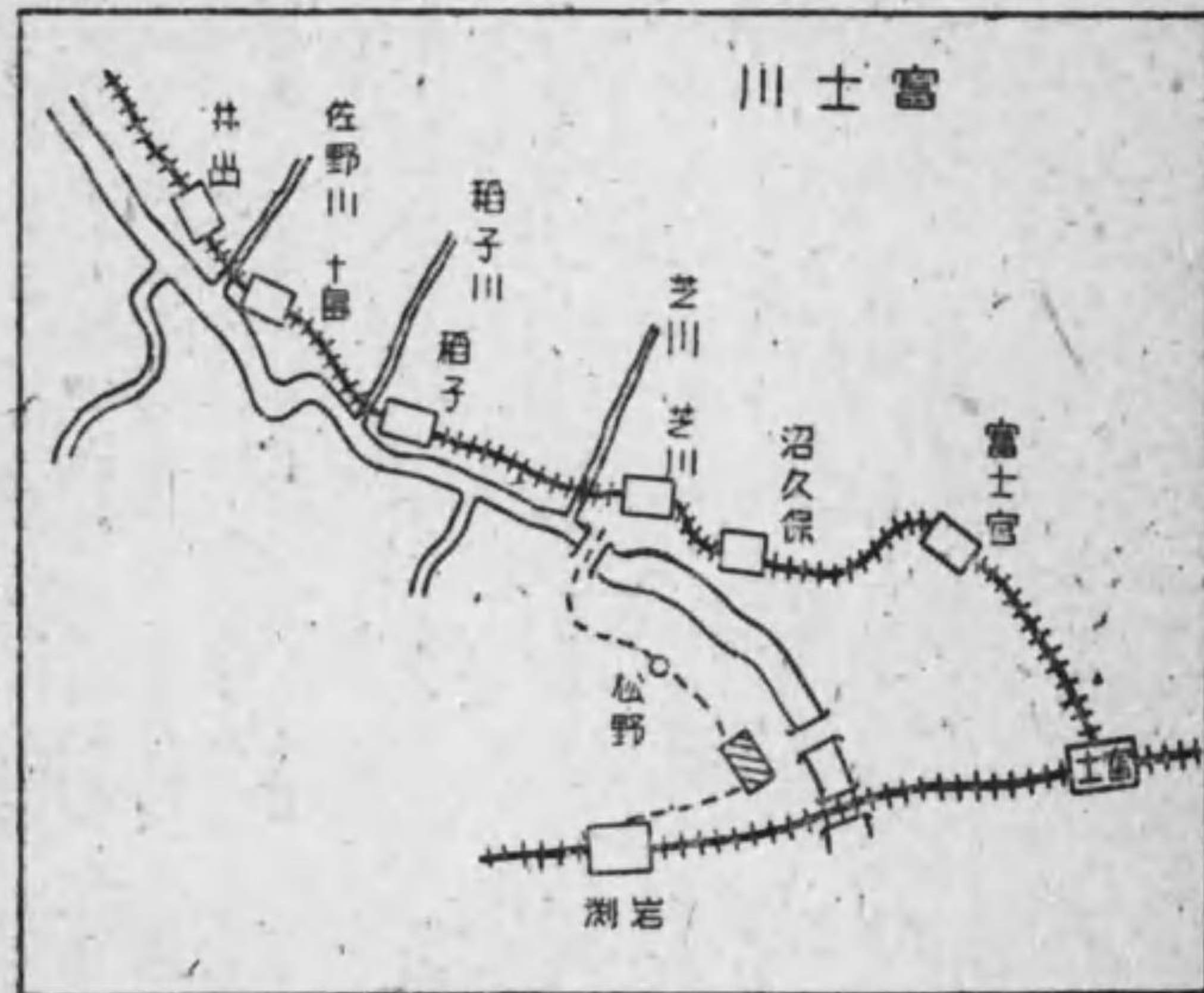
南アに源を發する關係で水温低く、友釣は七月からが最盛季に入る位であるから、六月は朝九時頃にならぬは罔を追はない。水源地遠く、増水、濁り多く、發育は毎年甚しく異なるから出漁にはその調査が必要である。

三四年前は解禁日當初から二十五匁、三十匁の鮎が友釣で一貫目も釣れた。

そして淵に追ひこんで終つたのでそれからドブ釣で好漁が続いたけれども、昨年は解禁日に罔の入手さへ不可能であつた。

十島の堰には毎年の溜場所となる關係でドブ釣には芝川上流がよく、友釣黨には芝川の排水口か





富士川

## 山女魚釣場

### 山女魚ハイキング (正丸峠)

雑木林の夢さます山鶯の聲も美しく、さよやかに繰り横げられた奥武蔵の山々……。  
 その山も谿川も深く、足場もよいので澤を溯り、道なき尾根をこして、山女魚ハイキングの楽しいところ。  
 エキスパートの精進するには物足りないかも知れないが、家族連れ、アベツクの寫真と釣も楽しい思ひ出となるに違ひない。  
 武蔵野線吾野驛から正丸峠へは自動車道路も完成されて峠までは高麗川に沿ひ、峠を越へると蘆ヶ久保の溪谷に沿つて秩父へ通ふ。飯能から河又森ヶ原、名郷へもバスが通ひ、武甲山、伊豆ヶ岳高山不動、正丸峠の行列に仲間入りして歩いてから一人静かに離れて澤口に入り、大漁の人の話を



正丸峠附近

釣はオリムピック・タールで……  
 (全国釣具店各デパートにて買上げ乞ふ)  
 製造 植野製作所  
 發賣元

東京都豊島区椎名町七ノ三、八九五  
 電話落合長崎(95)二、五二・三、三九・三、九三

ら、下流岩淵附近は終期友釣を楽しむことができる。  
 友釣の川ではあるけれども、ドブ釣に大分成績を擧げて、ドブ釣の川へと移行しつゝある。本流の溜り時には支流へ廻る鮎を採るも面白い。井出の福士川、十島の佐野川等はドブ釣、友釣に見逃がせぬ場所である。  
 順路は下流は東海道線岩淵下車(そばや旅館)身延線芝川から上流がよい。なほ岩淵から、松野を経て芝川間にバス連絡がある。



聞いて、我は又我、小型ながら、型をみるだけでも楽しい。

正丸峠を中心にする三つの溪谷に分けられてる伊豆ヶ岳から出る谿は北へ流れて蘆ヶ久保川となり、他の川と逆行してゐるから逆川とも云ふ。高麗川の源流は大蔵川、北川、南川の水を蒐めて吾野谿谷となり、山伏峠、妻坂峠、鳥首峠の水を蒐めて名栗谿谷をつくる。

北川は柏木、岩井澤附近、南川は下久通より、奥蘆ヶ久保川は武甲上、下流、上流には岩魚が交る。大場所は有間谷であるが上流でなければ望みがない。水量も比較的多いが案外に釣れない。

### 秋川溪谷（山女魚）

繪原——と謂へば東京最奥の部落である。今にして素朴と閑寂と温容に包まれた山村で、小規模ながら山又山の秘境をつくつてゐる。この山女魚も、手近かながら、馬鹿には出来



ない。

それは交通不便に基因するのだか、足まかせに釣り歩いたならば、型のよい山女魚の姿に驚くであらう。

併し手近かなところは出漁者多く、雨後の増水の好条件を狙はねばならないし、盛季の毛釣にもよい。

本宿で南北附近に分流するけれども、北は藤原白矢附近、神戸澤、白石澤、南秋川は数馬山奥を狙へば間違ひない。勿論何處を探しても型はみられるが、期待は出来ない。盆堀川にも結構姿は見られるとしても、釣りにかゝるのは僅かである。

養澤川も一頃、虹鱒、川鱒の放流で一躍清流釣師の話題にあがつたが、放流中絶されても、御嶽澤、大蔵澤には型がみられる。

十里木から本宿の間は、岩を深く抉つて滔々と流れ、青葉の淵に、銀鱗跳躍を思ふけれども、雨後の好条件の外は、大物だけに、数は期待出来ない。

本宿は第一の山女魚釣根拠地となるけれども、上流に位置した方がよい。数馬の堰に見る悠々山

女魚の姿に、釣意がそゝられる。この附近までくるとは、大分時間がかかる。近いと謂つても足に時間を食ふから、遠征釣場位要するから、敬遠したけれども、道路がよいから自轉車の利用可能である。

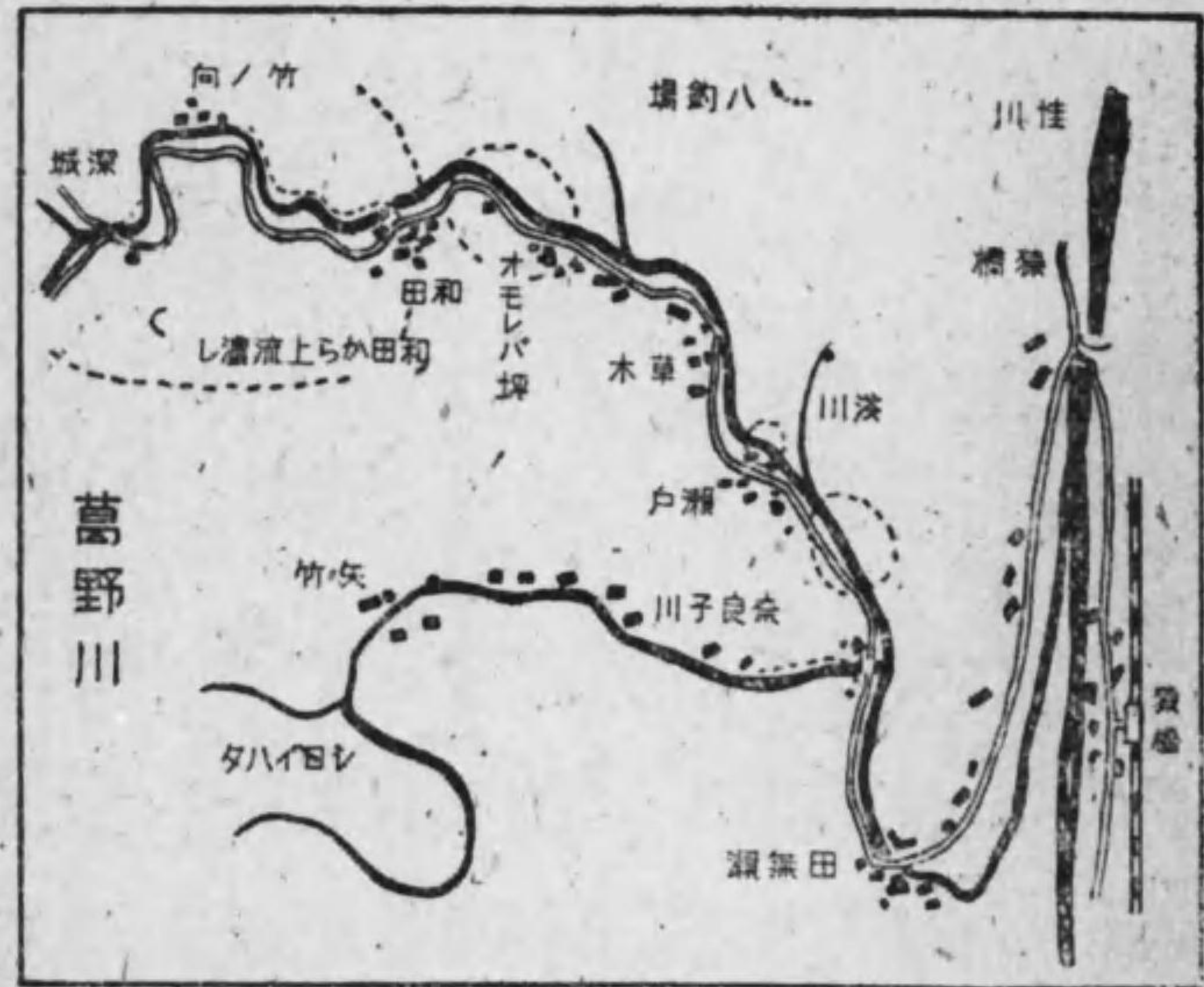
支流失澤にも、いちど足を入れても無駄ではない。

順路は、立川から五日市鐵道で五日市下車、バスで十里木、それから、歩けの行進を始める。本宿、数馬には宿屋がある。

### 葛野川の山女魚

山女魚釣道場である。一度は出漁して、山女魚の魔味に接してもよい。勝つか、負けるか……と謂ふのは度々公開されて出漁者多いけれども、生き残つた山女魚が、すっかり卒業して修養済みであるからなまなかの釣師で釣る事が出来ない。とは云つても魚の事だから、大丈夫。中央線猿橋驛下車、七保行バスで終點下車、歩





終点田無瀬附近から釣場となるけれども、多くの出漁者が和田部落下流を離れ、下流程魚が薄い事は争へぬ。底石大で水量の比較的多く雨後の増水時分は渡渉は困難である。上流にゆくとつれて懸崖高く、悪場が續くと共に魚が濃い。一日の釣では和田附近まであるが上流深城迄くると、魚は非常に濃く、山女魚の寶庫、小金澤の秘境となる。

土室も濃いが、悪場連続で精通した道案内を必要とする。田無瀬、深城間は三里、一泊の豫定ならば、和田、深城に宿るがよい。支流奈良子川も濃い。

秘境小金澤を上流にもつので、下流葛野川一帯が魚が絶えないのであらう。それに手近にある釣場だけに、千軍萬馬の強者山女魚だから、川虫イクラの餌釣に、毛釣釣に修業道場と謂へるわけである。

### 秘境根利澤

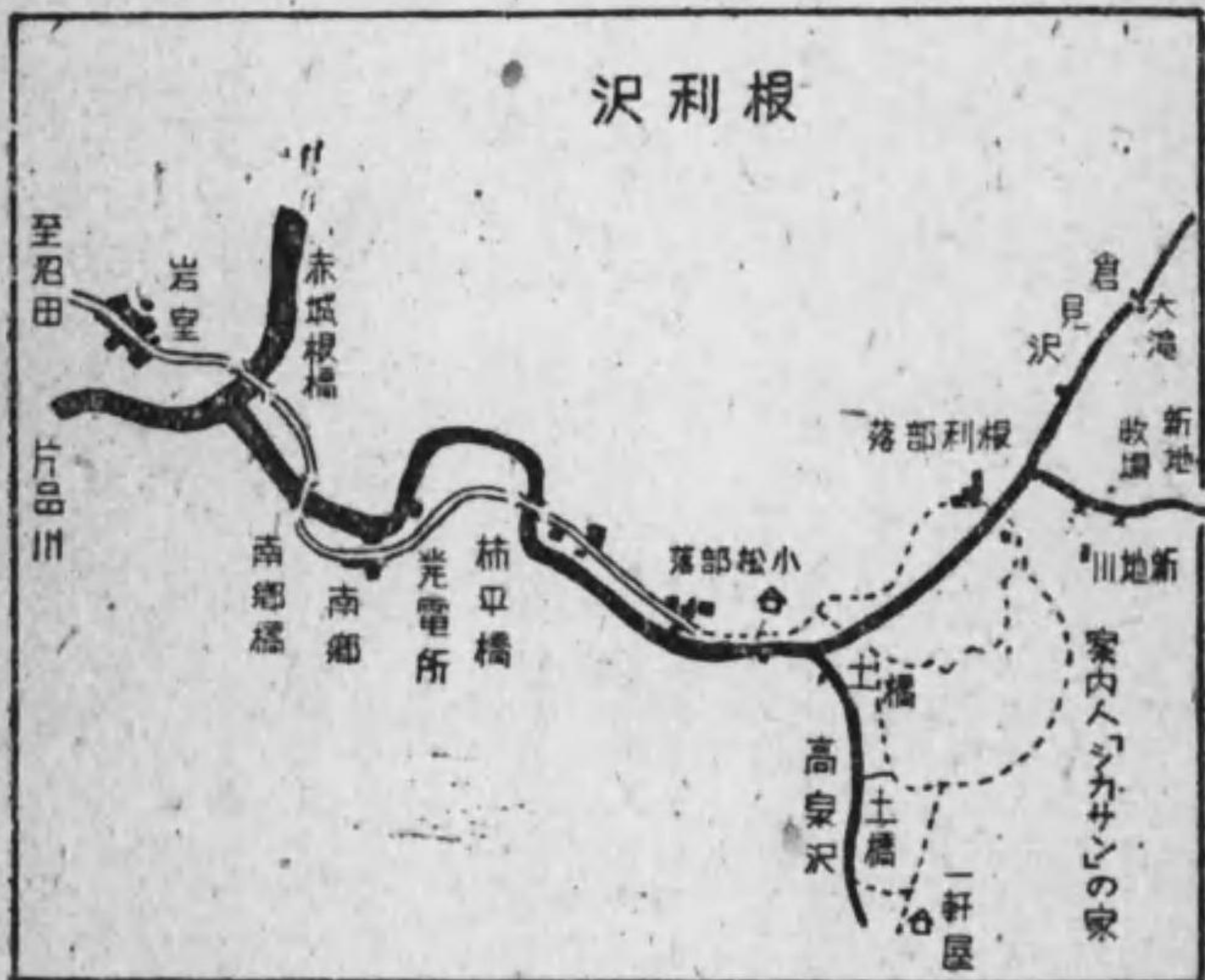
秘境も旬中にして無価値となる場合がある。釣場が狭いと謂ふ事と出漁者に寄つて荒されて終ふからで、餘程の大場所でない限り、すぐ荒され終ふ。

併し又來年回復してくるから、一度の出漁で駄目とあきらめるのは早計と謂はなければならぬ。根利澤は片品川の支流で、赤城山の懐深く抉つて流れてゐる。桐生釣への所謂『山女魚岩魚の藏』と謂はれてゐる。上越線沼田驛へ下車して岩室行バスにのるが約一時間。そこから根利部落まで三里半の行程である。岩室から根利川出合まで約十二三町はある。

片品川の赤城根橋を渡つて根利川に沿つて歩いて南郷橋、柿本橋の附近は到る處好場所の連続であるが期待は出来ぬ。釣り歩めるのは、小松の一軒屋附近から根利部落へ釣る。

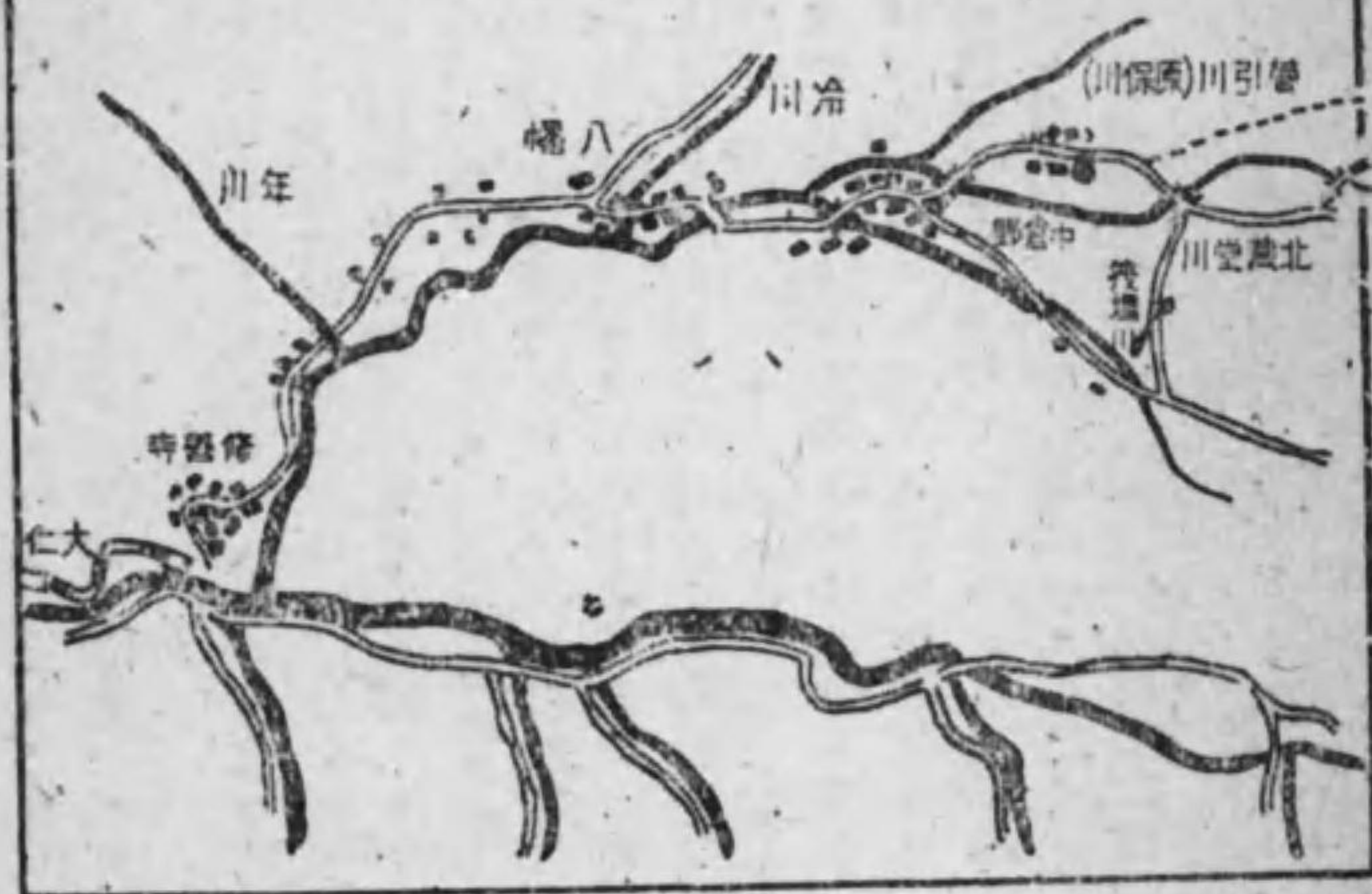
この間は山女魚に岩魚が交るが一里の間魚は非常に濃度高い。

途中悪場所は一ヶ所あるだけである。高原の澤には岩魚が多く本流は新地川、倉見澤に分れる。新地川は山女魚が主で大型ではないが





大見三川上流



濃度高く、新地牧場まで釣り溯る。  
 倉見澤は川場よく主として岩魚で、大瀧から上流は岩魚の大型ばかりとなるが案内人なしでは危険である。  
 根利澤は非常に水温が低い。その上魚の數多い故か魚が一般に痩せてゐる。

大見三川の山女魚

湯の香蕪る南の國、伊豆の國狩野川の支流、大見川は足場のよい事と魚の多い處で、こゝへの出漁では、餘程の悪條件でない限り型をみぬ事はあ  
 るまい。

特に一年中毛釣釣を楽しめる處である。  
 春淺い頃、山は枯林に掩はれて山肌も黄金色、山の稜線は鮮かな山嶽を畫いて、常緑樹の間に交つて梅の香が高い。春の順季は何處よりも早いから、山女魚の『春へのめざめ』が一しきり早い。

春も早い頃、駿豆鐵道、修善寺から、八幡の下流まで大見川本流を探ると、幅の厚い肥えた山女

山女魚の仕掛と餌

山女魚の仕掛に苦勞する事はない。盛季の山女魚尺物も六毛、八毛であげるとは、雪代山女魚であつて、譬へ釣つても二度目に切れて終ふ。高價な細物のテグスは不必要である。人造でも結構、二厘を使用して釣れるのである——併し餌を水面に流すのである。

沈めては細物を使はねばならないが、フットバシ釣で虫蛾をとつて水面を流せばよい。二厘でも結構である。それより面白いのは毛釣を使ふことである。毛釣が色々といはれてゐるけれども、神經質に考へる必要はない。要は色法技術が解決する。黒釣、茶釣、白釣の三種があれば宜敷い。それで充分に釣れる。買ふとしても残念ながらよい釣がない。飾物釣で使ふ釣ではない。自分で簡単に作れるのである。餌はキチがよい。イクラがあればアマゴ系山女魚によいが、川で川虫をとれば間違ひはない。

魚とハヤが交つて釣れる。  
 竿は三間竿が必要で、イクラで攻めれば實に面白い。けれども二月頃は風が多いから、なか／＼好條件の日が少い。

八幡までは伊東バスでもよいが、地藏堂行では原保、箒場行では戸倉野下車、原保の木屋旅館が根據地となる。八幡からの谷川も型のよいのが釣れる。八幡から、戸倉野までは水量不足で釣場としての價値がないが、戸倉野からは三川揃つて名釣場となる。

普通原保が根據地となる關係でその上流を狙ふから、全川魚はゐるとしても菅引、地藏堂の最良を狙ふか、初期は菅引、地藏堂共原保下流を狙ふと面白い結果を得る事がある。  
 地藏堂川は大瀧小瀧の上流は小物だけ共魚は濃いが下流は型がよい。菅引は本屋の學校裏から川の右岸に沿つて溯り、上流土橋からが有望であるが、その下流は崖が深くて足場の悪い關係で魚が濃い。

最近疎開者に荒されたけれども、イクラを使用すれば面白い釣ができる。



編輯後記

「釣場案内」第一輯を世に贈る。  
 本社は曩に新生日本の國民保健と精神修養の向上に資し、延いては現下の深刻極る食糧事情に鑑み榮養資源の獲得を目的として、誰にも楽しく讀める月刊釣誌「つり人」を創刊した。

この「つり人叢書」は、その別冊臨時特輯號とも謂べき性質のものであつて、爾後「つり人」と並行して續々輯を重ねてゆくものである。今後本叢書が日本釣人の必携の書となり、また後進のよきリーダーとした完璧の域にまで發展出來得るものとしたら、本社は凡ゆる犠牲をも敢て願ふ所存である。

何卒本社熱意を諒とせられ、倍舊の御後援、御愛讀を乞ふ。

本書は、安食梅吉、渡邊竿魚、水上好男、並木茂、四氏の玉筆に依つて成つたものである。

つり人叢書(I) 釣場案内 第一輯 奥付

昭和二十一年七月十日印刷 定價金三圓  
 昭和二十一年七月十五日發行

東京都小石川區大塚仲町九番地

著者 つり人社編輯部

東京都小石川區大塚仲町九番地

編輯者 鈴木 晃

東京都小石川區大塚仲町九番地

發行者 佐藤 垢石

八王子市千人町三丁目五一番地

印刷者 川井 正男

八王子市千人町三丁目五一番地

印刷所 標準印刷社

東京都小石川區大塚仲町九番地

發行所 つり人社

御手数でも左右欄の事項御認めの上御送付下さい。それに依つて今後一層皆様と本社との連繫を密に致たいと存じます。

取.....線

御住所	本書をお求めになつた書店、釣具店、驛賣店の住所及び店名
	御好きな釣りもの
御職業	
御芳名	
御歳	
最近の釣況	

(裏面に御注意下さい)



503  
241

# 良釣具店



大澤釣用品店  
阿佐ヶ谷三ノ四八六



新橋東作  
銀座西七ノ五  
電話(57)803



日本釣具店  
東京丸ビル  
電話(23)5522



鉤庄  
芝大門



釣具  
萬盛洞  
池袋駅西口  
豊島区池袋二ノ一六九



竿師竹堂  
内山釣具店  
中野区本町通り一ノ九

リール  
FOX リール  
荒井商事株式會社  
浅草區駒形一ノ二  
電話(8.4)937



渡辺竿魚釣漁店  
川崎市諏訪町四一二

御印象に残る釣の名著  
(書名、著者名、發行所名)

本書に對する御感想  
(例へば、内容上、編輯上、營業上等)

本書に對する御希望  
(例へば、今後どんなものを出版して欲しい等)



終

創刊七月二日發行

釣魚雜誌

# つり人

主幹 佐藤 垢 石  
編輯 鈴木 晃

予約は直接本社

定價 6\_ 送料別  
半年 36\_ 送料共  
一年 72\_ 送料共

月刊釣誌 釣り人社  
圖書出版

東京都小石川區大塚仲町九

¥ 3.00